

中日ニュース

シネスコ版

No. 524

39.1.31

中日ニュース No. 200 (200号記念特集)

東洋エース 4連勝

初日中日戦イタ (プロ野球はじかい)

4/7頁

一、日米経済委員会開く

—東京—

この程ラスク國務長官をはじめ七閣僚を日本に迎えて第三回日米経済合同委員会が開かれました。

この会期中にフランスの中共承認が公表され、会議は政治色の濃いものとなりました。会議の間をぬって池田・ラスク、大平・ラスク会談が何度も行われ中共対策を中心に双方の意見が交換されました。しかし両国の中共に対する考え方は、かなりくいちがいが見られ、この「すれ違い」が解決されない限り、この委員会の目的は達成されないでしょう。

一、ベルギー国王広島へ

—広島—

日本を訪問中のベルギー国王夫妻は、二十七日広島を訪れ、国賓として初めて原爆慰霊碑に花輪を供えられました。

ついでこの後宮島へ向われ、宋の鳥居宮島をご見学、安芸路を楽しみました。現代に生きる

一、プロ野球一年生

—和歌山—

今年はおリンピックが行なわれるためプロ野球開幕は約一ヶ月早く始まります。まだ一月というのに各球団は一齐にキャンプ・イン。各地で着々コンディショニングの調整に努めています。

今年も数多くの話題をふりまいて入団した新人達もレギュラーの座を目指して懸命に練習を重ねています。中でも中京界の大物捕手木俣達彦選手は南海・中日のはげしい争奪戦を演じて中日が獲得。捕手陣が手薄だけにシーズンの活躍が期待されます。

今年も辰年。万年二位返上と和歌山県勝浦にキャンプを張る中日ドラゴンズ。ルーキー木俣選手も参加。

だがプロ野球一年生とあって、木俣選手の一日は球拾いから始まります。そして学生時代には味合った事のないフリーバッティングピッチャーをつとめます。キャッチ・ミットをもつてのピッチングにはプロ一年生のきびしきを感じさせます。やっと開放されてバッティング練習。

だが生きたボールではなく機械相手の練習です。でもやっと一人前あつかいされたうれしさは格別です。

柿本、権藤投手の球をうけて本職の捕手の練習が始まります。

まだまだキャッチング、スローイングに難があり、コーチ連からはげしいトレーニングをうけます。

そして今、木俣選手はレギュラーの座を目指して懸命にトレーニングにはげんでいるので

7/1頁

1/4

1/4